

青森県
秋季高校野球

光星 攻守で圧倒



【十和田工―八学光星】2回八学光星2死満塁、奥名恒貴が右中間に2点二塁打を放ち、8―0とリードを広げる。はるか夢

も多く奪うだけ。一球一球に集中し、全力で戦う」と意気込んでいた。

十和田工000000
八学光星2611X100
(5回コールド)

(十)馬場、高松、橘、野村
(八)横山、森、太田、越田、
渡部、國澤、久守、織笠
▽三塁打 佐藤(八)▽二
塁打 森、奥名(八)▽暴
投 馬場(十)

▽試合時間 1時間26分
(球審)福永、塁審)秋元、
溝江、高木)

【評】八学光星が攻守で圧倒した。初回は佐藤の左越え適時打などで2点先

制。二回には打者11人の猛攻で6点を奪い、突き放した。投手陣は6人の継投で無安打零封。十和田工は初回2死一、三塁の好機を生かせず、二回以降は三者凡退に仕留められた。

好機に勝負強く

○：優勝候補の一角に挙げられる八学光星は大量10得点、無失点で初戦を飾った。伊藤巧将主将は「足を絡めて好機をつくり、勝負強く打った。一人一人が役

割を果たした結果」と淡々と語った。

新チーム始動からの約2カ月間、練習では実戦での好機を想定した打撃練習に注力し、打線はこの日の初戦で成果の片りんを披露した。伊藤主将は「ミート力には自信がある。今年は全員で1点ずつを積み重ねるチーム」と言い切る。

準々決勝の相手は、今夏の決勝で苦杯をなめたライバル青森山田。伊藤主将は「とにかく相手より一点で

八学光星・奥名恒貴(3安打2打点の活躍)「センター返しを心掛けた。好機を生かす打撃ができて良かった」